

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	令和6年度第4回朝霞第六小学校学校運営協議会	
開催日時	令和6年12月19日(木) 午前9時00分から午前10時30分まで	
開催場所	朝霞第六小学校 校長室	
出席者及び欠席者の職・氏名	【出席者】 〈委員〉 ・渡邊由恵副委員長・前田敏委員・鈴木幸恵委員 ・尾池富美子委員 ・吉山隼人委員・田邊雅也委員（校長） 〈事務局〉 ・池崎敏博（教頭 事務局）・岩本雄剛（主幹教諭） 【欠席者】 ・渡邊聡委員長・渡邊誠委員	
議題	1 開会のことば（教頭） 2 学校運営協議会長 挨拶 3 学校長挨拶 4 協議 （1）学校長挨拶および2学期の学校の取組と3学期に向けて （2）学校評価アンケートについて （3）その他 5 閉会のことば（教頭）	
会議資料	・学校運営協議会次第 ・令和7年度週時程、日課表 ・新校舎完成に伴う変更内容について	
会議録の作成方針	☐ 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	☐ 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	☒ 要点記録	
	☐ 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	☐ 会議録の確認後消去 ☐ 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法 会長による確認	
傍聴者の数	0人	
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1 開会のことば（教頭）

2 学校運営協議会長 挨拶

副委員長：学校運営協議会 4 回目、応援団等積極的に活動を行った。本年度は『本』をテーマに図書室と企業と連携して説明会を行った。本日もよろしくお願いいたします。

3 学校長挨拶（議題 1 2 学期の学校の取組と 3 学期に向けてを含む）

校長：新校舎がほぼ完成した。

4 年→大風を作成。社会との学習連携。失敗から学びをする。昔は知識としてのみだったが、今年は行動としてチャレンジしている。

社会の和紙を生かして、国語のパンフレットづくりを連動。話の構成を生かしている。

さくら→スーパーで買い出し。調理実習を行うため。お金を計算したりして実践的な学びをしている。スーパーと連携して売ることも視野？

6 年→お茶。自分たちでブレンドを行っている。ゴールは 3 学期の学習発表会。どら焼きを作成。体育館で試食会。QR コードを利用したアンケート、クイズ、動画等を作成。相手を考えての学習を行う。中学校へアンケートに行った。インプットをアウトプットする活動で深い学びを。学校応援団の補助が大いにありがたい。

5 年→文部科学省調査官からオンラインでご指導をいただいた。指導の修正点から急遽渡邊さんの畑で人参堀の活動を行った。ロイロノートを使用。新しい共有方法を試している。広めたり、作ったりするだけでなく、それを取り巻く周りの環境や人たちを意識して学ばせたい。

1 年→ドングリを使っの授業。保護者の協力をしている。

保健委員会→歯の治療率が課題。歯に関する動画を作成。歯の治療への声かけ等を行った。

校長：どの学年も地域の多くのお店にかかわっている。議員さんが視察に。2 月 9 日來年度の学校経営方針についていろいろ意見をいただきたい。キーワードは『社会総がかりで』子供のあこがれは著名人だけではないことを実験している。これからの学びは子供の自発性をスパイラルで学ばせていきたい。

委員：歯の治療率が低い。歯科医との連携は。

校長：連携をしている。歯科医とも連携して学びの場を広げたい。

委員：歯科医の時間帯にも関係あるか。

委員：歯は一生使うもの。親が意識をして管理しないとイケない。

委員：朝霞の医師会は活発に活動。ローテーションで時間を延ばしたりする工夫ができるのではないかな。

校長：歯科医と連携して座談会を行えないかを思考中。

委員：昔は虫歯がない児童の表彰があった。

委員：学校独自でもよいのではないかな。

委員：歯の治療は費用が掛からないが、矯正は費用が別なので高い。家庭格差が関係するのではないかな。

委員：社会に出ると気になる場面もある。

委員：助成金等があればかなり普及するのではないかな。
委員：大風について。失敗から学ぶことも大切だと感じる。
校長：いろいろ調べて作っている。学期末のお楽しみ会でも風をあげたいという学級もある。
校長：入試の形も変わるのではないかな。総合型選抜などもある。自分のストロングポイントを生かすパターンのもものも出てきている。
委員：5年の授業参観がおもしろかった。いろいろな視点のブースがあった。いろいろなパターンがあったのがよかった。
委員：テストの点とやりたいことの優先とのジレンマがある。
委員：6小の学びの方針はありがたい。良いのではないかな。
委員：地方公共団体との連携ができると教育はさらに良くなるのではないかな。
校長：学校とかかかわると楽しいと地域の人たちにも積極的に伝えていきたい。
委員：いろいろなかかわり方ができる子供たちがいる。
校長：新しい学びを管理職が職員に伝えていく必要がある。
委員：点数に現れないひらめきやアイデアをどう評価するべきかな。また、その子供の光るところを見つけてほしい。
校長：そのひらめきを表現する方法は指導していく必要がある。
委員：アンケートQRコードが良い取組。しかし、その方法が最善ではない人がある。様々なニーズに対応する対応が必要。
委員：地域への提言等も財としてよいのではないかな。

4 協議

(1) 2学期の学校の取組と3学期に向けて
上記挨拶の中で説明。

(2) 学校評価アンケートについて

主幹：学校評価（保護者）の速報についての説明

今年度は学校評価の周知を早めに行い、分かりやすい評価の場面と基準を提示して行った。しかし期間内の回答率が例年に比べ低く、期間を延長して行う予定。現段階での結果内容は、13項目中11項目が80%を超えた。超えなかった2項目については70%後半ではあったため、概ね本校の教育活動に理解を示していただいていると判断できる。80%以下の項目に関しては、自主的に学ぶ力や、態度に関する理解が少なかったなので、どのように今後解決策をたてていくかが課題である。

個人の意見としてはお褒めの言葉もあれば、ご意見をいただく内容のものもある。ご意見に関しては、すべてを学校運営に反映させることは難しいですが、より良い学校運営のために参考にしていきたい。

委員：すべての要望に対応するのは不可能なので、軽重をつけて行って良い。

(3) その他

教頭：来年度の教育課程日課表について。来年度は学びの場を広げたい。2年生も月曜4時間。3年生が水曜5時間に予定。文部科学省の答申を根拠に変更。働き方改革の推進、教育課程の見直しの項目を受けている。よりよい教育のために実施を行う。

教頭：新校舎完成に伴う変更点2点。

①設置型教具の変更。常設ラダー設置。築山設置。鉄棒増設。②分散していた登下校路を正門に戻す。

5 閉会のことば（教頭）